

	2015年3月	2015年4月	2015年5月	最近の経済動向
世界	トハイ原油 2 日 59.6 ^{ドル} 、17 日 51.4 ^{ドル} 、31 日 53.5 ^{ドル}	トハイ原油 3 日 52.5 ^{ドル} 、30 日 62.3 ^{ドル} -15年:GDP:IMF 世界 3.5、米 3.1、欧 1.5、日 1、中 6.8 - 1-3 月:タブレット出荷 5.9%減	トハイ原油 12 日 62.9 ^{ドル} 、13 日 65.5 ^{ドル} 、15 日 64.3 ^{ドル}	・米経済は消費・生産・投資減速傾向。欧州経済は消費を中心に緩い回復の動き。中国経済は7%に減速。インド7%台、ベトナム、フィリピン 6%台、マレーシア 5%台、インドネシア 4%台、タイ3%、シンガ 2%台成長。ロシア、ブラジル経済低迷。
日本	-株価:10 日 18,665、23 日 19,754、31 日 19,206 -雇用:19日シャープ希望退職3千人、2月:失業率 3.5%0.1 ポ改善、 -所得:19日大手企業過去最高賃上げ、2月:勤労者世帯収入 0.7%減 -消費:2月:消費支出 2.9%減、小売販売額 3.1%減、新車販売 14.7%減、住宅着工 3.1%減 前月比 4.7%増、 -受注:2月:機械 10.8%増、工作機械 28.9%増、産業機械受注 11%減、 -生産:2月:鉱工業 2%減、車国内生産 4.6%減、建設機械出荷 1.0%増、 -貿易:2月:輸出 2.4%増、輸入 3.6%減 -収益:3月期:純益:日産 18%増、日立 9%減、パナソニック 49%増、川崎重 34%、セイコーエプソン 33.7%増、三菱電 30%増、クボタ 6%増、ダイキン 29%増、京セラ 31%増、ブラザー 2.8 倍、オムロン 35%増、沖 21%増、ニコン 41%減、日揮 55%減、IHI 73%減、三菱商 11%増、三井物 12%減、伊藤忠 23%増、丸紅 50%減 -投資:2月:機械受注民需 8.1%増	-景気:3月:製造業景況感+12 横這い -株価:1 日 19,034、23 日 20,187、30 日 19,520 -雇用:3月:失業率 3.4%0.1 ポ改善 -所得:3月:勤労者世帯 0.3%減現金給与 0.1%増 -消費:3月:消費支出 10.6%減、小売販売 9.7%減、車販売 11.2%減、住宅着工 0.7%増、14 年度:新車販売 6.9%減、530万台4年ぶり -受注:3月:機械前期比 2.9%増、産業機械 26.9%増、工作機械 14.6%増、1-3 月:機械 6.3%増、 -生産:3月:鉱工業前月比 0.3%減、 -貿易:3月:輸出 8.5%増、輸入 14.5%減 -収益:3月期:純益:トヨタ 19%増 2.2 兆円、三菱重 31%減、川重 34%増、日立ハイテク 56%増、村田製 80%増、キーエンス 41%増、双日 21%増、営業益:ホンダ 13%減、スズキ 5%減、ミネア 86%増、最終損:シャープ 2,223 億円、ソニー 1,260 億円、オリンパス 87 億円、住商 731 億円、1-3 月:純益:キヤノン 29%減 -投資:9日三菱重3年間で 6300 億円投資	-GDP:1-3 月 2.4%、前期比:住宅 1.8 消費 0.4 投資 0.4 輸出 2.4 -政策:2020 年財政収支黒字 -株価:12 日 19,124、19 日 20,026、 -雇用:14 日シャープ希望退職 3500 人、 -消費:4 月:新車販売 7.5%減、 -受注:4 月:工作機械 10.4%増、 -投資:9日三菱重3年 6300 億円 -収益:3月期:経常益:上場企業 6%増、営業益:ソフトバンク 9500 億円	(前々月)・GDP10-12 月は 1.5%増と三期ぶりのプラス。失業率 3.5%やや改善。所得は2月はまだ実質マイナス、前年の反動で車販売大幅な落込、住宅着工は縮小幅減少。消費は 11 カ月連続実質マイナス。輸出は 6 カ月連続プラスも大幅鈍化。景気は消費のマイナスが続き、生産、投資は再び下降気味、輸出増が回復支える。経常益 4-12 月期は 7%増で自動車、機械好調、電機回復。株価は2万円台近づき、15 年ぶり。景気回復持続、財政赤字の縮小が課題。消費低迷、貿易赤字が懸念材料 (前・当月)・GDP1-3 月は 2.4%増と二期連続でプラス。失業率 3.4%やや改善。所得は3 月まだ実質マイナス、前年の反動で車販売大幅な落込、住宅着工は微増に反転。消費は3月迄 13 カ月連続実質マイナス。輸出は7 カ月連続プラス。GDPは輸出、住宅等で前期比プラスも前年比では消費、生産とも低迷。経常益3月期は6%増で自動車、機械好調、電機回復の企業により斑模様。株価は再び2万円台前後で推移。景気回復持続、財政赤字の縮小が課題。消費低迷、貿易赤字が懸念材料
アジア・大洋州	-GDP:15年:ADB アジア 6.3、中国 7.2、インド 7.8 -株価:上海 2 日 3,336、6 日 3,241、30 日 3,786 -中国:2月:輸出 48.3%増、輸入 20.5%減、小売売上高 10.7%増、新車販売 0.2%減、製造業景況感 49.9、0.1 ポ増、1-2 月:工業生産 6.8%増、固定資産投資 13.9%増、対中投資 17%増、1-3 月:営業益:ZTE42%増、最終益:三一重工 96%減、12 月期:純益:格力 30.2%増 -韓国:12 日:政策金利 0.25%下 1.75%へ、2 月:輸出 3.4%減、輸入 19.6%減、 -台湾:2 月:輸出 20.9%減、1-2 月:鉱工業生産 5.6%増、海外受注高 3.2%増、 -フィリピン:2 月:車販売 22.6%増、 -インドネシア:17 日:政策金利 7.5%据置、ルピア安、AD 強化、2 月:新車販売 20.6%減、 -ベトナム:2 月:新車販売 69%増 -タイ:2 月:車生産 2.8%増、新車販売 10.8%減、 -マレーシア:2 月:新車販売 0.6%減、 -シンガポール:2 月:新車販売 54.8%増 -インド:4 日:政策金利 0.25%下 7.5%へ、2 月:新車販売 6.9%増 28.4 万台、CPI 5.4%増	-株価:上海 1 日 3,810、27 日 4,527、30 日 4,441 -中国:20 日預金準備率 1%下げ 18.5%へ、3 月:輸出 15%減、輸入 12.7%減、小売売上高 10.2%増、新車販売 3.3%増、製造業景況感 50.1、前月比 0.2 ポ増、1-3 月:GDP 7%投資 13.5%、小売 10.6%、工業生産 6.4%、不動産 9.3%減、対中直接投資 10.6%増 -韓国:3 月:輸出 4.2%減、輸入 15.3%減、1-3 月:GDP 3.1%、輸出 2.8%減、営業益:サムスン 31%減、LG 36%減、現代自 18%減、現代重 19 億円赤字 -台湾:3 月:輸出 8.9%減、鉱工業生産 6.5%増、海外受注 1.3%増、1-3 月:純益:UMC3.4 倍、TSMC65%増、鴻海 56%増 1,182 億円、メディアテック 29%減、 -フィリピン:3 月:車販売 22.6%増、 -インドネシア:3 月:車販売 12.1%減、1-3 月:GDP 4.7 -ベトナム:3 月:新車販売 41%増、1-3 月:GDP 6.0%、輸出・消費、1-2 月:鉱工業 12%増 -タイ:29 日:0.25%下げ 1.5%へ、車販売 11.7%減、 -マレーシア:3 月:新車販売 14%増、1-3 月:GDP 5.6% -シンガポール:3 月:車販売 97%増、1-3 月:GDP 2.1% -ミャンマー:10日大型火力発電 -インド:3 月:新車販売 2.5%増 39.9 万台、CPI 5.2%、1-3 月:自動車販売 4.2%増、	-株価:上海 7 日 4,112、12 日 4,401、19 日 4,283 -中国:6日車各社生産能力過剩、4月:輸出:6.4%減、輸入 16.2%減、新車販売 0.5%減、製造業景況感 48.9、0.3 ポ低下、前月比横這い、 -韓国:4 月:輸出 8.0%減、輸入 17.8%減、 -台湾:4 月:輸出 11.7%減、 -フィリピン:4 月:車販売 18%増、 -インドネシア:4 月:CPI 6.8%増、新車販売 23.2%減 -タイ:3 月:輸出 4.5%減、1-3 月:GDP 3% -マレーシア:7 日:政策金利 3.25%据置、4 月:新車販売 23.1%減 -インド:4 月:新車販売 14%増	(前々月)・中国は1-3 月GDP7%とさらに減速、設備投資高水準も不動産投資落込、車販売やや減速、消費は二桁維持。工業生産 6%台に減速、企業業績は車・IT減速、製造業景況感やや改善、政府金融緩和へ。株価大幅上昇。韓国、輸出再びマイナスへ、企業業績悪化で経済対策。台湾、輸出減少・生産堅調でGDP3%台成長、企業業績好調。その他の直近のGDP、ベトナム、フィリピン 6%台、マレーシア 5%台成長。シンガ、タイ 2%台成長。インドは物価高騰も車販売回復、消費、投資増で 7%台(新基準)成長 (前・今月)・中国は 1-3 月GDP7%とさらに減速、設備投資高水準も不動産投資落込、輸出は2カ月連続、車販売もマイナスへ、消費は二桁維持。工業生産 6%台に減速、景況感悪化へ、企業業績は電機・通信好調、車・IT減速、建機悪化、政府更なる金融緩和へ。株価上昇高水準。韓国、輸出3ヶ月連続マイナス、企業業績悪化で経済対策。台湾、輸出3カ月マイナス、生産は堅調でGDP3%台成長、企業業績好調。その他の直近のGDP、ベトナム、フィリピン 6%台、マレーシア 5%台、インドネシア4%台、タイ3%台、シンガ 2%台成長。インドは物価高騰も車販売回復、消費、投資増で 7%台(新基準)成長

北米	<p>-景気:5日FRB大半の地区で経済拡大続く、2月:製造業景況感 52.9、0.6ポイント低下</p> <p>-株価:2日 18,288、11日 17,365、31日 17,776</p> <p>-雇用:2月:失業率 5.5%、0.2ポイント改善、</p> <p>-所得:2月:個人所得前月比 0.4%増</p> <p>-消費:2月:個人消費前月比 0.1%増、小売売上高 1.7%増前月比 0.6%減、新車販売 5.3%増、126万台、新築販売 24.8%増、前月比 7.8%増、住宅着工 3.3%減、前月比 17.0%減、耐久消費財前月比 1.4%減</p> <p>-生産:2月:鉱工業前月比 0.1%増、</p> <p>-貿易:2月:輸出 3.9%減、輸入 4.9%減、</p> <p>-収益:12-2月:純益:マイクロン 28%増</p> <p>-投資:2月:稼働率 78.9%</p>	<p>-GDP:1-3月:年率前期比年率 0.2%、個人消費 1.9%、輸出 7.2%、投資 3.4%減</p> <p>-景気:16日FRB 大半で経済活動拡大、一部でドル高、原油安で需要縮小、30日景気減速一時的</p> <p>-株価:1日 17,698、16日 18,105、30日 17,840</p> <p>-雇用:3月:失業率 5.5%横這、雇用増 12.6万人</p> <p>-消費:3月:個人消費前月比 0.4%増、小売売上高 1.3%増、前月比 0.9%増、新車販売 0.6%増、154万台、住宅着工 2.5%減、新築販売 19.4%増</p> <p>-生産:3月:鉱工業 2%増、前月比 0.3%減</p> <p>-貿易:3月:輸出 6.5%減、輸入 0.2%減、</p> <p>-収益:1-3月:純益:主要 500社 2%増、IBM 2%減 23億ドル、GM 7.6倍、アップル 33%増 135.7億ドル、インテル 3%増、アルコム 46%減、フォード 6.6%減、ボーイング 38%増、最終損:GE1.6兆円評価損</p> <p>-投資:3月:設備稼働率 78.6%、GM3年間 65百億</p>	<p>-景気:4月:製造業景況感 51.5 横這い</p> <p>-株価:6日 17,841、19日 18,312、</p> <p>-雇用:4月:失業率 5.4% 0.1ポイント改善、</p> <p>-消費:4月:小売売上高 0.9%増、前月比横這、新車販売 4.6%増、住宅着工前月比 20.2%増、</p> <p>-生産:4月:鉱工業 1.9%増、前月比 0.3%減、</p> <p>-収益:2-4月:純益:シスコ 12%増、</p> <p>-投資:4月:設備稼働率 78.2%</p>	<p>(前々月)・GDPは10-12月前期比年率 2.2%増、8四半期十。失業率 5.5%でやや改善。所得改善等で住宅投資回復の兆しも車販売減速、個人消費は拡大維持。輸出は減速、生産・投資は概ね堅調。企業収益 1-3月 2.8%減と減速、システム・電子部品等好調、他方、IT関連斑模様、車悪化。株価は最高値から下降気味。成長持続、雇用拡大が課題。金融緩和引締が懸念材料。</p> <p>(前・今月)・GDPは1-3月前期比年率 0.2%増、9四半期十。失業率5.4%でやや改善。所得改善等で住宅投資回復傾向も車販売減速、個人消費は減速傾向。輸出は減速、生産は概ね堅調も投資は減速傾向。企業収益 1-3月 2%増と減速、IT関連、システム・電子部品、車とも企業により斑模様。株価は再び最高値へ。成長持続、雇用拡大が課題。金融緩和引締が懸念材料。</p>
欧州	<p>-財政・金融:9日ECB量的金融緩和開始、国債等月8兆円買取、5日:英国政策金利 0.5%に据置</p> <p>-株価:10日 6,702、23日 7,037、31日 6,773</p> <p>-雇用:2月:失業率ユーロ 11.3%、独 4.7%、仏 10.6%、伊 12.7%、スペイン 23.1%、蘭 7.1%、ポーラ 7.8%</p> <p>-消費:2月:小売売上高:ユーロ 2.8%増、独 3.3%増、仏 3.3%増、英 4.8%増、伊 1.3%増、スペイン 2.5%増、蘭 2.9%増、ポーラ 8.3%増、新車登録:欧州 7.9%増、独 6.6%増、仏 4.5%増、英 12.0%増、伊 13.2%増、スペイン 26.1%増、蘭 1.9%増、ポーラ 12.9%減、</p> <p>-生産:2月:鉱工業:ユーロ 1.9%増、独 1.0%、仏 1.6%増、英 0.2%増、伊 0.1%減、スペイン 1.1%増、蘭 6.1%増、ポーラ 5.2%増</p> <p>-貿易:2月:ユーロ輸出 4%増、輸入 0%</p>	<p>-GDP:1-3月:欧 1%、独 1 仏 0.7 英 2.4 蘭 2.4</p> <p>-財政・金融:26日ECB金利据置、緩和継続</p> <p>-株価:1日 6,809、27日 7,103、30日 6,960</p> <p>-雇用:7日ジーマンス 1,600人追加削減、3月:失業率ユーロ 11.3%、独 4.7%、仏 10.6%、伊 13.0%、スペイン 23.0%、蘭 7.0%、ポーラ 7.7%</p> <p>-消費:3月:小売売上高:ユーロ 1.6%増、独 0.9%増、仏 2.1%増、英 5.3%増、スペイン 2.8%増、ポーラ 8.7%増、新車登録:欧州 10.8%、独 9.0%増、仏 9.3%増、英 6.0%増、伊 15.1%増、スペイン 40.5%増、蘭 1.1%減、ポーラ 6.3%減、</p> <p>-生産:3月:鉱工業:ユーロ 1.8%増、独 0.1%減、仏 1.6%増、英 0.7%増、伊 1.5%増、スペイン 3.5%増、蘭 2.0%増、ポーラ 6.6%増</p> <p>-貿易:3月:ユーロ輸出 11%増、輸入 7%増</p> <p>-収益:1-3月:純益:ジーマンス 3.5倍 5,290億円、ダイムラー 91%増 2,550億円、VW 21%増 3,780億円、BMW4%増 2,040億円、フィリップス 28%減 130億円</p>	<p>-株価:7日 6,880、8日 7,046、19日 6,995</p> <p>-雇用:9日ジーマンス 4,500人追加削減、</p> <p>-消費:4月:新車登録:欧州 6.8%増、独 6.3%増、仏 2.3%増、英 5.1%増、伊 24.2%増、スペイン 3.2%増、蘭 4.0%減、ポーラ 1.7%増、</p>	<p>(前々月)・GDP 10-12月ユーロ前期比 0.3%増、7四半期微増。失業率は高水準横這。自動車販売は好調、消費は英独仏蘭を中心に回復傾向、輸出回復傾向、投資は停滞、生産は英独仏を中心に回復の兆し。ECBは3月9日より量的金融緩和開始。企業業績は自動車概ね堅調、システム悪化。株価は対口制裁、ギリシャ問題も回復傾向。高水準の失業率の低下、景気回復が課題。ウクライナ問題、ギリシャ政局、景気下振れが懸念材料</p> <p>(前・今月)・GDP 1-3月ユーロ前期比 0.4%増、8四半期微増。失業率は高水準横這。自動車販売は好調、消費は英独仏蘭を中心に回復傾向、輸出回復傾向、投資は停滞、生産は英独仏スベ、ポーラを中心に回復傾向。ECBは3月9日より量的金融緩和開始。企業業績は自動車概ね堅調、システム斑模様。株価は対口制裁、ギリシャ問題も回復傾向。高水準の失業率の低下、景気回復が課題。ウクライナ問題、ギリシャ政局、景気下振れが懸念材料</p>
中東ア	<p>-トルコ:2月:新車販売 56.9%増 5.9万台、14年:GDP 2.9%増</p> <p>-南ア:2月:新車販売 1.6%減、14年:新車販売 0.7%減</p> <p>-イェメン:25日内戦の危機</p>	<p>-トルコ:3月:新車販売 74.8%増 8.9万台</p> <p>-南ア:3月:新車販売土0%横這い、</p>	<p>-トルコ:4月:新車販売 68.4%増 9.6万台</p> <p>-南ア:4月:新車販売 3.3%減、</p>	<p>・シリア、イラク、リビア、イエメン、ナイジェリア、南スーダン等で政情不安定。イラン、エジプト安定化傾向。サウジアラビア、UAE、クウェート、オマーンは安定成長。トルコ2%成長。南ア、物価高、金利引上げ、車販売減速も2%台成長。中東・アフリカ政治情勢の安定化が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:4日政策金利 0.5%引上 12.75%へ、14日リアル下落、インフレ・通貨安対策 2月:車販売 28.3%減 18.6万台、14年GDP 0.1%</p> <p>-メキシコ:2月:新販売 22.0%増 9.8万台</p>	<p>-ブラジル:3月:車販売 2.6%減 23.5万台</p> <p>-メキシコ:3月:新販売 22.4%増 10.5万台</p>	<p>-ブラジル:4月:車販売 25.2%減 21.9万台</p> <p>-メキシコ:4月:新車販売 23.3%増 9.5万台</p>	<p>・ブラジル経済は物価上昇、通貨安、金融引締め、消費、生産低迷でマイナス成長。メキシコ経済は車販売好調、輸出増等で 2%台成長回復。経済回復が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:13日政策金利 1%引下 14%へ、2月:新車販売 37.9%減、12.8万台</p>	<p>-ロシア:30日:政策金利 1.5%減 12.5%へ、3月:新車販売 42.5%減、14万台</p>	<p>-ロシア:4月:新車販売 41.5%減、13.2万台</p>	<p>・ロシアは対口制裁、原油下落・輸出減少、消費、投資、生産の低迷、金利下げでも GDP マイナス成長へ。対口経済制裁、原油下落の影響懸念、経済回復が課題。</p>